



浦島伝説

歌の力∞無限大

昨今、痛ましい事件や自然災害などで、人の命が失われるニュースが連日のように報道されています。東京三鷹の女子高校生殺害事件、JR横浜線踏切で高齢男性を救出しようとした女性が電車でひかれて死亡した事故、台風26号による伊豆大島の土砂崩れ……。改めて、命の尊さを考えさせられます。

そんな時、私たちに元気や勇気を与えてくれるのが、家族、友、歌……。です。



10月13日、「アンパンマン」の生みの親であるやなせたかしさんが亡くなりました。アンパンマンは、自分は傷ついても、どうすればみんなが喜んでくれるか、幸せになれるのかを考えて、人のために一生懸命尽くすヒーローとして、子どもたちに大人気です。

また、やなせさんは、作詞家としても有名で、「生きることのすばらしさ」を伝えようとしてこられました。自ら作詞した『アンパンマンのマーチ』には、♪**何のために生まれて 何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのはいやだ!**と、生きる意味を考えさせられる歌詞もあります。『手のひらを太陽に』もやなせさんの作品で、♪**生きているから歌うんだ 悲しいんだ 笑うんだ うれしいんだ 踊るんだ 愛するんだ**…などのフレーズは誰でも口ずさんだことがあるでしょう。合唱コンクールでは、生きている喜びをしっかりと歌で表現してください。生きているから歌えるのです!



やなせさんと同じ漫画家に、藤子不二雄さんがいます。藤子・F・不二雄と藤子不二雄Aの共同ペンネームで、代表作には、『オバケのQ太郎』、『ドラえもん』、『パーマン』、『怪物くん』などがあります。

井上靖著『あすなろ物語』に出てくる言葉だが、ぼくは大好きだ。

あすなろ(翌檜)はヒノキ科の常緑高木で、ヒノキに似ているが、ヒノキではない。

ぼくにとってのヒノキは、あの手塚治虫先生だ。昭和21年、手塚先生のデビュー作『新宝島』を見て、漫画家に憧れた時から手塚先生がヒノキだった。「いつか手塚治虫先生みたいな…」と夢見ながら“あすなろ人生”を送ってきたが、ついにはヒノキになれなかった悲哀を今かみしめているのだ。

しかし、これまでの漫画家人生をやってこられたのも、この“あすなろ”の気持ちがあったから…というのでも確かなことである。 ※「PHPアーカイブズ 心に響く100の言葉」(藤子不二雄A)から引用

藤子不二雄Aさんにとっての“ヒノキ”は手塚治虫先生であり、“あすなろ”の気持ちを持った藤子さんだからこそ、ヒノキになろうと大きく成長したのだと思います。

きっと生徒のみなさんも“あすなろ”精神で練習に励んできたことでしょう。そんな“あすなろ”にとっての“ヒノキ”は、まぎれもなく「先輩」だったはずです。今年も他の学年と合同練習をすることで刺激を受け、一気に上手になった学級もあります。そして、毎年、合唱コンクール後の感想には、3年になったらあんな歌を歌いたいという感想を見かけます。きっと今年の3年生もすばらしい歌声を聞かせてくれることでしょう。ちなみに、“あすなろ”の漢字は“翌檜”。「翌日(あす)は檜になろう」と書きます。



10日から始まった朝練もあと1日です。なかなか全員がそろわず、気持ちが一つになれないこともあったかもしれませんが、でも、眠い目をこすりながらも参加したのは、友達がいたからでしょう。

今年のNHK全国音楽コンクール中学生の部の課題曲は『友～旅立ちの時～』でした。♪**確かな答えなんて何一つないさ 心揺れて迷う時も ためらう気持ちそれでも支えてくれる声が 気付けばいつもそばに**…。

そして、3年生は、この行事が終わると、めざすは高校入試のみになります。そんな時、♪**友 進むべき道の先に どんなことが待っていても 友 この歌を思い出して 僕らをつなぐこの歌を**…のように、きっと合唱が心の支えになることでしょう。

この通信の見出しである「歌の力∞無限大」は、数年前のNHK紅白歌合戦のテーマです。明後日の合唱コンクールは、みなさんにとっての“紅白歌合戦”であり、“全国音楽コンクール”でもあるのです。